

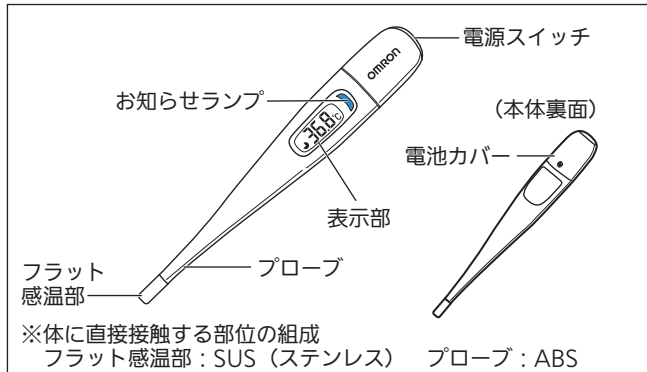
機械器具16 体温計  
管理医療機器 電子体温計 14032010  
**電子体温計 MC-H500シリーズ**

**【禁忌・禁止】**

- ・乳幼児の手の届かないところに保管してください。  
また、子供だけで使用させないでください。  
[誤飲による窒息や傷害に至ることがあります。]

**【形状・構造及び原理等】**

## 1. 主要部の形状と名称



## 2. 構成

|              |    |
|--------------|----|
| 本体           | 1個 |
| リチウム電池CR1220 | 1個 |
| 収納ケース        | 1個 |
| 取扱説明書        | 1部 |

## 3. 動作原理

本製品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、開始から約10秒後にブザーが鳴り、予測検温値を表示する。そのまま継続すると実測検温へ移行する。検温開始から約10分後に終了のブザーが鳴り、実測検温値を表示する。

## 4. 仕様

|        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 外形寸法   | ：20.1(幅)×136.8(長さ)×12.8(厚さ) mm |
| 質量     | ：約14 g (電池含む)                  |
| 使用環境条件 | ：+10～+40℃/30～85 %RH            |

## 5. 電気的定格

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 電源   | ：DC3 V (リチウム電池 CR1220 × 1 個) |
| 電撃保護 | ：内部電源機器 B F形装着部              |
| 消費電力 | ：0.01 W                      |

## 6. 性能及び安全性に関する規格等

- (1) 最高温度保持機能：実測して定常状態に達した後の最高の温度値を保持し、一定時間又はリセットするまで表示する機能。
- (2) デジタル表示：測定した人の体温をデジタル表示する。
- (3) 最大許容誤差：一般用 ±0.1℃ (32.0～42.0℃)  
※標準室温23℃にて恒温水槽で実測測定した場合
- (4) 電源電圧：試験前後の温度表示の差：一般用 ±0.2℃以内
- (5) 防 浸：試験1回目と2回目及び1回目と3回目の温度表示値の差：一般用 0.1℃以下
- (6) 測温範囲：一般用 32.0～42.0℃
- (7) 最小表示単位：一般用 0.1℃
- (8) 測定範囲外告知：32.0℃未満のとき「L」を表示、42.0℃を超えるとき「H」を表示
- (9) 感 温 部：サーミスタ
- (10) 測定方式：予測・実測（ピークホールド方式）
- (11) 体温表示：デジタル表示3桁+℃表示、0.1℃毎

**【使用目的又は効果】**

測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示すること。

**【使用方法等】**

- (1) 電源スイッチを押して電源を入れます。
- (2) 表示部が「検温準備完了表示」になっていることを確認します。
- (3) 感温部をわきにはさんで、密着させます。
- (4) 予測検温を終了するまで、本体を保持します。
- (5) 予測検温終了のブザー音で、予測検温結果を確認します。
- (6) 予測検温のみの場合は、電源スイッチを押して電源を切ります。  
実測検温の場合はそのまま検温を続けます。
- (7) 予測検温開始から約10分で測定が終了しブザー音が鳴ります。
- (8) 実測検温結果を確認し、電源スイッチを押して電源を切ります。

詳細については取扱説明書をよくお読みください。

**【使用上の注意】**

- (1) わき以外で検温しないでください。
- (2) 連続して検温しないでください。一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。
- (3) 検温中、感温部を検温する部位に密着させるように固定し、空隙はつくらないようにしてください。また、大幅に動かさないでください。
- (4) 電池の電圧が低下すると電池交換マークが表示されますので電池を取り替えてください。
- (5) 運動や入浴後は、30分以上あけてから検温してください。
- (6) 飲食後は、30分以上あけてから検温してください。
- (7) 起床直後の行動開始時期は、比較的激しく体温が上昇しますので、30分以上あけてから検温してください。
- (8) わきの下が汗ばんでいるときは、わきの下を乾いた布で数回拭いてから検温してください。
- (9) 感温部およびプローブは防浸ですが、それ以外（表示部など）は防浸ではありません。本体を水につけないでください。
- (10) 感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。
- (11) 電池やねじ、電池カバーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。
- (12) 周囲温度は10～40℃の範囲で使用してください。

**【保管方法及び有効期間等】**

## 1. 保管方法

- (1) 次のようなところに保管しないでください。
  - 1) 水のかかるところ。
  - 2) 高温・多湿、直射日光、ほこり、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
  - 3) 振動、重圧、衝撃（運搬時を含む）のあるところ。
  - 4) 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。
- (2) 保管環境条件：-20～+60℃/10～95 %RH

## 2. 耐用期間

標準的な使用期間：5年 [自己認証（当社データ）による]

**【保守・点検に係る事項】**

- (1) 故障した場合は勝手に修理、分解せず、お客様サービスセンターにご連絡ください。
- (2) 勝手に改造しないでください。
- (3) 本製品に水や化学薬品をかけないでください。
- (4) 本体の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- (5) 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取ったあと、柔らかい布でから拭きしてください。
- (6) 消毒する場合は、消毒用アルコール綿で2～3回拭き取ってください。

**【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】**

製造販売元：オムロンヘルスケア株式会社

電話：0120-30-6606

(オムロン お客様サービスセンター)